

令和元年度 湖西市文化財保護審議会

－ 会議録 －

日 時 令和元年10月4日（金）13時30分～15時30分
会 場 市民活動センター2階 大会議室

○出席者

委 員	◎渡辺 和敏	
	○跡見 厚夫	
	平野 克典	
	牧野 茂	
	後藤 建一	
事務局	渡辺 宜宏	湖西市教育長
	鈴木 徹	湖西市教育次長
	岡本 聡	湖西市教育委員会スポーツ・文化課 課長
	藤井 鉄明	湖西市教育委員会スポーツ・文化課 課長代理
	鈴木 紀子	湖西市教育委員会スポーツ・文化課 主査
	鈴木 理恵	湖西市教育委員会スポーツ・文化課 副主任
	切池 融	湖西市教育委員会スポーツ・文化課 主事

◎：会長 ○：副会長 傍聴人：0名

1 開会

2 あいさつ

渡辺委員長
渡辺教育長

3 諮問

・渡辺教育長から渡辺委員長に諮問書を手渡す

(審議内容)

委員長：N07. 今川氏真書状写は、写であるが指定物件とするか、どうか。

委員：なぜ写であるのか、わかるか、物件概要に記載したほうがよいのでは。
古文書に詳しくない人にはわからない。

委員：タイトルに写とあり、花押が2つ書かれ、句読点も通常は書かないので、明らかに
写したもの。あえて書かなくてもいいのではないか。

内容的に貴重なもの。本物（原物）がでてきたら、指定解除すればよい。

指定しないと、大事なものではないと解釈されるかもしれない。

委員長：12点全てについて、指定でよいか、答申をまとめる。

委員：すべてよい。指定することで、他の寺社にも同様の文書がでてくるかもしれないし、
保存の励みとなる。

委員：保存状態もよく、本興寺に関わる資料として貴重なものであり、これからも保存して
いってほしい。

4 答申

⇒12点指定が適当である答申とする。

5 令和元年度文化財関係事業の進捗状況

- ・本興寺中門について

委員：建物が傾いており、早急な修繕が必要。

- ・遺跡発掘調査事業について

委員：調査後はすべて開発で壊されてしまうのか？

事務局：その予定である。

委員：市内に窯跡で価値ある残っているものはあるのか？

委員：市内には200箇所程度の窯跡があるが、残っているのは100箇所くらい。

そのうち、保存状態がよく価値が高いものは、民地の山林にあるものと岡崎中敷地内にある。

委員長：市内で窯跡を見学できるところはないのか。

委員：ない。

委員長：保存しているところは？

委員：岡崎中にある窯跡を保存して残してある。

他にも保安林内にあるものは、簡単には開発されない。

窯跡は山林にあるため、どうやって残すか、どうやって公開するかなど問題が多い。

委員長：次回、委員会で岡崎中の窯跡を見学したい。

- ・その他（次回指定候補物件について）

- ・浜名湖湖底遺跡から採集された骨角器を見てもらい、次回の調査物件として承認

6 閉会

(以上)